

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】

～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】

市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保



東北自動車道で発生した多重事故にかかる当院の対応について



▲負傷者の受入れの準備をする職員

令和3年1月19日正午ごろ、東北自動車道下り線古川インターチェンジから北に2キロ付近で乗用車やトラックなど約140台を巻き込む多重事故が発生しました。当院では、大崎広域消防本部から事故発生の連絡を受け、事故による負傷者が多数発生していることが予想されたため、本院に災害対策本部を設置し、午後の外来診療を休診し院内にトリアージエリアを設け、負傷者を受け入れる体制を整えました。

また、宮城県からの派遣要請に基づき災害派遣医療チーム（DMAT）1チームを現地に派遣しました。派遣されたDMATは、猛烈な風と地吹雪の中で県内各地から集まった警察や消防隊等と連携を図りながら、事故の負傷者に対して診療やトリアージ等を行いました。

今回の事故にかかる休診等の対応について、ご理解とご協力いただきありがとうございました。当院は今後も通常診療のみならず、救急・災害医療にも注力し災害拠点病院として、地域医療に貢献していきます。



▲受入れ状況の整理をする職員



▲現地で対応するDMAT隊員

病院薬剤師の仕事

皆さんは、薬剤師に対してどんなイメージをお持ちですか。

薬局の中で、棚から患者さんの薬を選び、窓口で手渡ししている様子を思い浮かべる方がほとんどだと思います。しかし、薬剤師の仕事はそれだけではなく、患者さんが適切な薬剤管理や最良の治療ができるように様々な取組を行っています。今回は、一般的な調剤薬局と院内薬局の違いに触れながら、当院の薬剤師の仕事をご紹介します。



▲窓口業務

調剤薬局と院内薬局の違い

調剤薬局

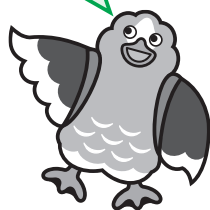
調剤薬局は、主に内服薬の処方を行います。薬局によっては患者さんの自宅に訪問し、服薬管理を行っているところもあります。最近では、かかりつけ薬局がある方も増えており、患者さんにとってより身近な薬局と言えます。

院内薬局

院内薬局は検査薬や注射薬など、一般的な調剤薬局では取り扱わない特殊な薬剤の管理や処方を行っています。また、患者さんのカルテ情報から医師に対して薬の情報提供や処方提案などもしています。

薬剤師としての知識を生かして、緩和ケアや栄養サポートなど多職種と連携したチーム医療にも取り組んでいます。

それぞれの薬局にメリットがあるので、互いに連携を図ることが大切だね！
当院では、調剤薬局から患者さんの状態などを院内薬局に報告してもらい、主治医の先生に伝達するなど地域との連携にも力を入れているよ！



当院の薬剤師の仕事

入退院時の面談業務

当院では入院する前に、現在使用している薬の聞き取りを行っています。その結果をもとに、お薬の相性を考え、入院中に服用するお薬や点滴、退院時の処方などを行っています。

また、退院後の治療に役立てるために、患者さんのかかりつけ薬局の薬剤師と、退院後の薬の処方に関する情報共有などもしています。

患者さんが入院している間は院内の薬剤師が、退院後はかかりつけ薬局の薬剤師が、処方する薬剤の管理を行うので、それぞれの薬局が連携するため、この面談は非常に大切な役割を持っています。

お薬のことで、不安なことや分からないことがあればお気軽にご相談ください。



▲入院時面談

抗がん薬専門業務

当院には、抗がん薬を専門に取り扱っている薬剤師がいます。その薬剤師が業務している「サテライトファーマシー」

では入院・外来の患者さんの抗がん剤治療が安全に行えるように、治療計画の管理・休薬期間・併用薬の有無・副作用などを確認しながら調剤しています。

サテライトファーマシーの薬剤師は、患者さんと直接顔を合わせる業務ではないため、患者さんの生の声が届かないという課題がありました。現在は患者さんの抗がん薬に対する不安や疑問点を解消できるように個別面談も行っています。



▲抗がん薬の調剤業務

おくすり手帳のメリット

「おくすり手帳を持っていますか？」と薬局の窓口で尋ねられたことはありませんか。

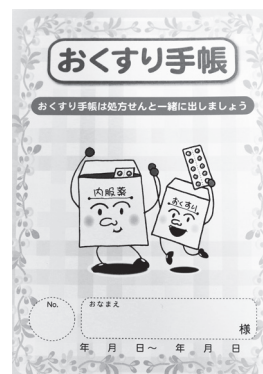
おくすり手帳には患者さんを適切に、そして安全に治療するためにとても大切な役割がありますので紹介します。

例えば、複数の病院に通院していると、同じ薬や服用中の薬と相性の悪い薬を処方されてしまう恐れがあります。おくすり手帳には、そんな二重処方や良くない飲み合わせを未然に防ぐ役割があります。また、今までの薬に関する情報が一つにまとめられており、かかりつけ医が変わった場合などにも役立ちます。

実際に当院では、10年前の東日本大震災震災の時に、パソコンで管理していた薬剤のシステムが停電で停止し、患者情報を確認することができなくなった際、おくすり手帳の情報が役に立ったという経験があります。また、当院独自の取組として、薬の種類と処方日数などの記載だけでなく、入院中に中止になった薬や開始になった薬、検査のために止めなければいけない薬など、より詳細な情報を記載（図1）しています。

退院時薬剤管理指導 様	
・入院日: 月 日	退院日: 月 日
・入院目的:	
■お持ち帰りになるお薬と内容	
令和 年 月 日 内科(退院処方)	
アトルバスタチンOD錠10mg	1錠
分1 朝食後	30日分
※ クリニック処方追加	
ビソプロロール錠2.5mg	1錠
分1 朝食後	30日分
■入院中に使用した主な注射薬	
使用期間: △月△日～▽月▽日	
セファゾリン注	1g
プロムヘキシ注	1A×2
■退院後再開になるお薬(入院中は当院代替薬を使用)	
(クリニックからの処方薬)	
アトルバスタチン錠10mg	1錠
オルメサルタンOD錠10mg	1錠
分1 朝食後	
イコサペント酸エチル粒状Cap	2包
分2 朝・夕食直後	
■その他	
※当院処方が無くなる前に____クリニック受診をお願いします。	
病院名: 大崎市民病院	薬剤師
住所: 宮城県大崎市古川穂波3-8-1	
電話: 0229-23-3311	

図1 おくすり手帳の記載例



このことにより、院外薬局との情報共有がスムーズなり、服薬指導にも役立っています。健康守る手助けとしておくすり手帳を活用してみたいかがでしょうか。

～このページは、私たちが作りました～

薬剤師の仕事について、理解は深まったでしょうか。薬のことで分からないことがあれば、ぜひおくすり手帳を持って、お近くの薬剤師にご相談ください。また、これまでの記事を通して少しでも当院に興味を持っていただけであれば、とても嬉しく思います。

私たち新人職員は、広報誌の記事作成や取材をとおして、普段関わらない職種を知ることができ、とても勉強になった1年でした。今後も他職種と連携しながら、病院職員として地域に貢献していきたいです。ご覧いただきありがとうございました。



市立宇和島病院派遣レポート

助産師 男澤 歩あひ

姉妹都市人事交流事業のため、愛媛県宇和島市に来て9か月が経とうとしています。人事交流の辞令が発表された時は「長いなあ」と思っていました。終わってみればあっという間の9か月でした。宇和島の温暖な気候と温かな人柄のおかげで、何不自由なく生活と仕事をすることができました。

私が配属された市立宇和島病院の6階東病棟は、産科・婦人科・外科・乳腺外科の混合病棟です。分娩件数は、少子化に加えて、新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度は152件（前年度203件）と、大崎市民病院と比べると4分の1程で、赤ちゃんの声が聞こえず寂しく思う日もありました。その分お母さんと赤ちゃんには手厚く育児支援ができていたように思いました。また、周術期（手術の前後の期間）や化学療法、放射線治療、終末期看護にも携わることができ、改めて自分の看護を振り返る機会となりました。



道後温泉

私は今まで大崎市民病院と市立宇和島病院を含め3つの病院に勤めてきました。どの病院も「患者さんにより良い看護を」という熱意に違いはないものの、仕組みやルールなどそれぞれの特徴がありました。視野を広く持ち、「地域に欠かせない存在」であり続けられるよう、大崎市民病院の一職員として尽力していきたいと思っています。

医療機器のご紹介（自動胸骨圧迫装置）

当院では、1月に自動胸骨圧迫装置である「LUCAS（ルーカス）」を購入しました。この装置は心肺停止患者に対して、連続した効果的な心臓マッサージを行うことができます。また、コロナ禍の対応として①患者との距離をとる②蘇生に参加する人員の削減③救助者の負担軽減、という観点からも自動式胸骨圧迫装置の使用が日本蘇生協議会の蘇生マニュアルで推奨されています。



▲操作訓練の様子

主に救急搬送されてきた患者への使用を想定していますが、この装置は持ち運び可能であることから、一般外来や病棟での急変時対応、災害発生時の被災地派遣での使用、装置を使用しながらの救急搬送も可能となり、幅広い救命活動ができるようになりました。安全・迅速・的確に使用するために、定期的な操作訓練を行いながら、職員のスキルアップに努めていきます。

アンケートにご協力ください

当院では、病院の医療機能や役割、取組等をご理解いただくため、広報誌「市民病院だより」を発行しています。誌面づくりの参考にさせていただきます。そのため、アンケートを実施していますので下記QRコードを読み取りいただき、専用サイトからご回答をお願いいたします。



▲バックナンバー



▲アンケート

市民病院だより No.20 2021年4月1日発行【年4回発行】

大崎市民病院 経営管理部経営企画課 Tel 0229-23-3311（内線 3704）
〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号
Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail kikaku@h-osaki.jp

編集・発行

